

**令和 6 年度 第 1 回小牧市在宅医療・介護連携推進協議会**

**小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告**

**令和 7 年 2 月 2 0 日（木）**

## 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

事業項目	取組み内容	報告者	ページ
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	(1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況	加藤委員	2～5
	(2) 薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況	石田委員	6
	(3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有	深萱委員、金田委員、大野委員	7～8
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	(1) 医療・介護の関係団体との連携	金田委員	9
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	(1) 医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携	大野委員	10
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	(1) 病院とケアマネジャーの連携	田中委員、小松委員	11～12
	(2) ICT の運用（機能強化）	田中委員	13
(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援	(1) 在宅医療・介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携	金田委員	14
	(2) アウトリーチ型の相談体制の充実	田中委員、金田委員	15～16
(カ) 医療・介護関係者の研修	(1) 多職種連携研修の実施	深萱委員、大野委員、金田委員	17～19
	(2) 在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施	田中委員、河内委員、	20
(キ) 地域住民への普及啓発	(1) サロン等における在宅医療・介護に関する取り組み	加藤委員、河内委員	21
	(2) わた史ノートの普及・啓発	金田委員	22
(※) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	(1) 広域連携の推進	増井委員	23

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
加藤委員	<p><b>1.訪問歯科診療の対応表</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こまきつながるくん連絡帳」「小牧市歯科医師会 HP」の内容に変更はない。地域包括ケアの観点から中学校区範囲での訪問距離内での対応が望ましいと考えて、HPの方は区分けしてはいるが各歯科医院での許容範囲なども異なっており、大々的な情報提供は行っていない。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医院が診療所を主体とした診療体系であり、訪問歯科を行うにはもう一つの診療体系を構築する必要がある。その為の費用や人員確保を用意する事にもハードルがあり、また 休日や休憩時間を潰す必要があるために見えない訪問診療へのハードルの高さは感じられる。</li> </ul> <p><b>2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小牧市歯科医師会 HP」に糖尿病医歯薬連携の関連マップを追加した。その他の変更点はない。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小牧市歯科医師会 HP」内の検索に関しては分かりにくい部分があるが、変更は契約上の問題で難しいために、検索部位も簡易的な情報提供を行う必要があると考えている。(いつも見ている者からすると分かるのだが、初めて見る方には親切な HP ではない)</li> </ul>	<p><b>1.訪問歯科診療の対応表</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こまきつながるくん連絡帳」に変更はない、「小牧市歯科医師会 HP」の方は篠岡地区で訪問歯科を行いたいとの事で城山歯科を追加しています。各地域で訪問歯科を行える歯科医院は増えてきていますが、味噌地区はやや手薄な感じです。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・味噌地区に関しては他の地区からカバーする事は可能ですが、味噌地区でキーになれる先生が出てきてもらえるように今後も会としてサポートしていきたい。</li> </ul> <p><b>2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会 HP は実態に基づいて掲載する必要があると考えるが、ハードルを上げると対応できる歯科医院数が減ってしまう事もあり、現時点では制約は設けていない。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科数に関しては毎年集計をしており、ある程度の事は把握できている。今後はそれをどれくらい反映させるかを検討する必要がある</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 (令和 6 年 1 月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和 7 年 1 月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
加藤委員	<p><b>3. 歯科衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔衛生管理ができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、歯科衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有化、個々のレベルアップ、連携を行う。</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会の西田が 2023 年 1 月 9 日（祝）、9 月 24 日（日）に尾張北部の歯科衛生士会会員に訪問歯科診療での「水を使わない口腔ケア」についての実技を含めた講義を行った。身体的なハンディを抱えた要支援・要介護者の口腔ケアや歯科治療は健常者と同等に考える事は難しいが、学校教育自体や制度が追いついていない。今後も歯科衛生士のレベルアップに寄与出来るように対応していく予定である。</li> <li>・当会で完全に把握はしていないが歯科衛生士学校で講義を行っている会員の先生もいる。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士の雇用問題に関しては全国的な問題であり、小牧市だけではないが小牧出身の歯科衛生士が名古屋に流出してしまっているという点はデータがある訳ではないので憶測の域を出るわけではないが可能性はありうる。（金銭的な事も含めて）</li> <li>・魅力のある歯科医院作りが必要であると思われるが、各歯科医院の温度差はあり統一させる事は不可能である。歯科衛生士も偏在しているのが現実であり、沢山いる歯科医院と少ない歯科医院の二極分化している状況である。基本的に歯科医院は従業員 5 人未満の零細企業である事がほとんどであり、また小牧市の多くの歯科医院の先生が 60 歳前後である事や働き方改革も含めた雇用問題の時代の変化なども歯科医院にとっての歯科衛生士の保持は負担となっている可能性が高いと考える。</li> </ul>	<p><b>3. 歯科衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔衛生管理ができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、歯科衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有化、個々のレベルアップ、連携を行う。</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会と関与する歯科衛生士会は尾張北部支部であるが、連携などが直接ある訳ではない。おそらく会員の診療所で勤務している歯科衛生士もほとんど入会していない状況であろう。また訪問歯科を行い、在宅や施設に行っている歯科衛生士も多くはない。</li> <li>・地域の歯科衛生士に現場を持たせることが必要である。しかし現実問題として小牧の多くの施設は他市の歯科医院が確保している状況であり、そのような所は歯科医師会に入会していない所が多く、どのような口腔衛生管理を行っているのかの情報共有も困難な場合が多い。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士を雇用すること自体かなり難しい事を改善しなければ問題解決にはならない。すべての歯科衛生士が在宅や施設での口腔衛生管理に興味がある訳ではない。会員にも温度差がある事も大きな課題である。地域連携の一つとして歯科医院の近在施設への歯科衛生士への介入ができれば、会としてのサポートは可能である。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 (令和 6 年 1 月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和 7 年 1 月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
加藤委員	<p><b>4.介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <p>・ごっくんサポートチームに小牧市歯科医師会会員が参加しており、そちらへの依頼があることは連絡を受けている。出向は有志の会員であるが、会としても全面的にサポートはしている状況であり、チームで作成した YouTube に関しても現歯科医師会執行部（12 名）は全員が視聴してフィードバックをしてもらえるようにアンケートにも協力させていただいた。</p> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <p>・YouTube の視聴を全会員に行う事は難しいと思われるが、興味のある会員には積極的に情報提供を行っていく予定である。また歯科医師会でも HP から YouTube にリンクさせて市民や他職種への情報提供を行っていきたいと考えている。（HP より行う事は可能な契約である。）</p>	<p><b>4.介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <p>・ごっくんサポートチームに当会より 3 名参加している。研修会に関してはチームへの依頼から引き受ける事になっており、その場合は会への報告をしてもらい許可するようにしている。今後もその流れで行く予定である。</p> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <p>・3 名の歯科医師の負担が大きくなっている。本来は訪問歯科に携わる者は関与してもらいたいのが本音ではある。しかし有志の会でもあり、会員に強制させる事はできない。参加希望者に対してはごっくんサポートチームの許可があれば当会としては参加してもらう事に何ら問題ない。</p>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告 (令和 6 年 1 月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和 7 年 1 月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
加藤委員	<p><b>5.在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議等には可能な限り参加していく予定である。また今後はオーラルフレイルがフレイルやサルコペニアに対する介護予防の入り口のキーになることは間違いなく、国からも歯科が口腔機能低下症を行う事を明示されていることを考えると要支援前からの対応が必要となってくる。診療所に来られている機能が落ちた患者さんや介護認定で要介護にならずとも要支援や総合事業のサービスが必要となる方がターゲットとなると思われる。地域包括支援センターの介護支援専門員との連携がまずは必要である。そうなる事で今まで以上に歯科と介護分野との連携が生まれてくる可能性がある。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師が地域ケア会議に参加する歯科医師が同じであり、なるべく多くの先生が参加するように会の中でも啓蒙する必要がある。</li> <li>・オーラルフレイルから口腔機能低下症への診断をするには歯科医院での検査を行う必要があるが、購入機器や診療時間の確保など全ての歯科医院で検査を受け入れる訳ではない。一般市民や介護支援専門員からも現時点で受け入れできる歯科医院が分かるようにしていく予定である。ただし、当会としては小牧市の全ての歯科医院で検査対応ができるように進めている。</li> </ul>	<p><b>5.在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討</b></p> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護の人のほとんどに口腔管理が必要であるが、実際問題はそうではない。必要なのに繋がらない事も多々あると思われる。しかし一般市民が訪問歯科についてまで知る事は難しく、必要な時に相談する人や場所が明確である事が重要である。そうすると介護支援専門員や地域包括支援センターが訪問してくれる歯科医院とその先生・歯科衛生士を知る必要がある。地域ケア会議も顔と顔の関係作りをする一つの場ではある。今年度からは必ず歯科医師が最低 1 人は参加できるように取り組んでいるが、参加する者は限られている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員や地域包括支援センターも自分の担当の方を知らない歯科医師に紹介する事はできない。歯科医師もその点を知り、まずはそのような場に出席する事で顔と顔の見える関係作りが促進できるように情報提供は続けていく。</li> </ul>

## 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

#### (2) 薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
石田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅対応薬局リストの更新</li> </ul> <p>現在何も出来ていない状態。在宅対応薬局のどのような情報が欲しいかを確認していく。</p> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅対応薬局の情報に何を入れるべきか</li> </ul> <p>最近では無菌調剤の可否も重要な情報と考えている。無菌調剤可能店舗は少ない可能性もある。</p>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関より在宅の対応依頼が増えてきている。</li> </ul> <p>多職種の方々へ在宅での薬剤師の役割をもっと知ってもらう必要があるので、今後の多職種での会議への積極的参加を行う。また会議へ誘ってもらえるようにも取り組んでいく。</p> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅未実施店舗は人員不足や業務過多など原因と考えられる。</li> </ul> <p>利用者、医療関係者、ケアマネなどとの了承により自店舗が対応不可なら他薬局を紹介する仕組みなどを形成できるとよい。(薬局誘導にならない程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局薬剤師の業務をより多くの方に知ってもらう必要がある。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
深萱委員  《前回報告》 中内委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の介護展は6/25に小牧市公民館で4年ぶりに開催し、308名の来場者がありました。当日の協力事業所も85事業所、123名と前年度を上回り、市民の皆様の関心の高さと、事業所の連携協力姿勢が数字に反映されたと思います。開催時間を取って短縮し、来場記念品やお弁当の試食、各種測定器などを止め、事業所ブースのPRに注力したり、訪問介護や訪問入浴のデモに加え、花王カスタマーマーケティング(株)様による「人生100年！おいしく食べて、楽しくおしゃべりするために！」の内容の特別講座を開催いたしました。</li> <li>・次年度は再びふれあいセンターでの開催になりますが、基本コンセプトは踏襲しつつ、対面での開催を予定しています。必要に応じた感染対策を行いながらも、個別での相談を希望される場合にしっかり対応できるような配置と来場者の満足度が向上できるような企画を検討しています。</li> <li>・会員事業所スタッフの資質向上を目的として、今年度7回の研修会を予定しております。R6,1/17現在、5回終了、平均約17事業所28名のスタッフが研修を受講しました。また市民の皆様に介護保険制度をより理解して頂くために、市民講座も年1回開催しております。今年度は11/21,22に小針の郷にて「介護保険について学ぶ講座～あなたに介護が必要になったら～」実施しました。両日で42名の市民にご参加頂き、介護保険の申請方法やサービス利用について理解を深めて頂きました。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護展の参加事業所は85事業所と全体の約6割が何らかの形でご協力を頂いていますが、平時の事業所連絡会の活動においては更に少ないのが現状です。連絡会自体の在り方についても現在協議を重ねており、「介護展」「研修企画」を主とした定例の集まりではなく、「各事業所が共有する課題」について事業所間を超えた検討ができるような体制づくりを準備しています。</li> <li>・研修や部会への「参加」が目的ではなく多事業所及び多部会との「連携」で得られる「対価」を明確にすることを次年度以降の課題と位置づけています。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の介護展は6/16にふれあいセンターで開催致しました。238名の来場者と協力事業所のスタッフ134名と賑やかなながらも大きな事故等もなく終了することができました。各部会で開いたブースには質問や相談をされる方も多く、市民の皆様の関心の高さを今年も感じました。アンケートより来場者の反応は概ね良好でしたが各事業所からは見直すべき点が上がってきております。令和7年度も6/8に小牧市公民館で開催予定となっております。令和7年度も市民の皆様により介護をわかりやすく身近に感じていただける企画を現在検討しております。</li> <li>・会員事業所スタッフの資質向上を目的として令和6年度は3回の合同研修会を行っております。令和7年2月6日現在で2回終了、高齢者虐待防止は参加者38名、ChatGPTは23名でした。</li> <li>・今年度も介護保険制度の理解を深めていただくため、市民講座を開催致しました。11/19,20に田島の郷にて「介護について学ぶ講座～あなたに介護が必要になったら～」と題し、両日で66名の市民の皆様にご受講していただきました。あまり身近でないサービスには積極的に質問される姿も見られ理解を深めていただきました。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護展スタッフアンケートより、参加スタッフの負担が大きいとの声が出ておりました。原因としては準備から終了まで3日人手を取られる事や来場者数とスタッフ数が見合っていない、それぞれ自らの休日にボランティアとして参加しているケースが多い事が見えてきました。その点を踏まえ来年度は準備から終了までを1日にまとめ、負担の軽減を図るように検討しております。</li> <li>・研修会は前年度まで各部会が企画しておりましたが、参加者が少ないという点を考慮し、今年度は研修会の回数を減らし参加の促しを行っておりますが期待される効果はありませんでした。来年度も同様に研修回数は減らしたまま、オンラインや期間限定配信なども取り入れることを検討しております。</li> </ul>



# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

### (3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告 (令和 6 年 1 月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和 7 年 1 月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員 《前回報告》 岡田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、6 グループに分かれ、現時点で各グループともに 3 回開催できている。</li> <li>・6 グループそれぞれに、地域包括支援センター職員が参加し、介護支援専門員連絡協議会と協働して、その時々々の事例に沿った勉強会を実施することができた。</li> <li>・今年度は、包括主催の事例検討会（R6 年 2 月予定）に向けて小規模多機能型居宅介護連絡協議会と協働して開催する運びとなり、打合せ会議を済ませ、目下、開催準備を行っている。</li> <li>・昨年度に引き続き、各包括の社会福祉士による「高齢者虐待防止研修」を市内サービス事業所に向けて実施できている。</li> <li>・各介護保険サービス事業所との連携に関しては、「こまきつながるくん連絡帳」を活用して、タイムリーな情報共有が行えることが定着してきている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面での情報共有の機会を、感染症予防に努め開催していきたいと考えている。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括主催の事例検討会を 1/22 に開催。小規模多機能居宅介護の事業所に事例提供いただき、ケアマネジャー、包括、小規模多機能居宅介護の職員で意見交換をすることが出来た。</li> <li>・包括の社会福祉士による事業所向けの虐待防止研修を実施。介護保険事業所 6 か所、医療機関 1 か所で開催。</li> <li>・事業所向けの認知症サポーター養成講座の開催は、5 か所で開催。</li> <li>・事業所との連携については、「こまきつながるくん連絡帳」を活用し、速やかに情報共有することができている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業所、ケアマネジャーの抱える地域課題に対して、事例検討会や研修会を通じて意見交換はできているが、課題解決を検討していく場が不足している。</li> </ul>
大野委員	<p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年 4 月の小牧市介護支援専門員連絡協議会と小牧市介護保険サービス事業者連絡会の総会において、「さあ、作ろう！地域密着型 B C P」と題して研修会を開催。すべての事業種に対して災害時に助け合える事業所や専門職のネットワークの構築を提唱。各事業所で地域密着型の B C P 策定を進めることとした。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7 月に開催の「他制度の理解☆基礎力 Up！研修」において、社会保障制度や障害者福祉サービスについて学ぶ機会を企画。医療・介護関連の要介護者のニーズが複雑化・多様化することで、様々な社会資源を学習する機会の必要性が高まっている。</li> <li>・上記を受けて、12 月には「複数の問題が混在する方への支援について学ぶ」研修を企画。具体的に課題の解決に向け、社会資源をネットワークする方法を学んだ。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多問題世帯が増加傾向にあり、煩雑な業務を行う毎日の中で、専門職間の情報の共有は必須であると考えている。今回の研修でも、具体的な支援の中では情報交換や、相互の役割を確認することの必要性がはっきりしており、ICT 以外にもそれぞれの得意分野を活かし、あらゆる面で連携する仕組みを検討する必要がある。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

### (1) 医療・介護の関係団体との連携

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員  《前回報告》 岡田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケアマネジメント支援会議」は、①「生活困窮も含めた多問題・多機関が関わる事例」、②「アルコール依存症」③「認知症支援」④「障害と介護」⑤「虐待対応と予防」と5つのテーマとした。アドバイザーとして、①福祉総務課 ②春日井保健所、断酒会当人③認知症認定看護（訪問看護ステーション管理者）④障がい福祉課 ⑤包括管理者（社会福祉士）に依頼し、実施した。今年度の成果は、それぞれを地域課題として捉え、その具体的な解決について、グループ討議ができたことが挙げられる。また、アンケートの結果からも、「参加してアドバイザーから有用な情報を得ることができた。」「相談窓口が判って良かった。」「困り事について、話せる場があって良かった。」という意見を多くいただき、「ケアマネジメント支援会議」の開催目的を達成できたといえる。</li> <li>・令和3年度・令和4年度で開催した多職種カンファレンスの事例概要から、地域課題の分析と情報共有を行い、その具体的な課題解決に向けてチームメンバーで討議を重ねた。新たなサービス及び資源の開発・政策への提言などを検討している。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント支援会議は、地域ケア会議の4つの機能に加え、ケアマネジャーの後方支援としての機能を果たしていけるように引き続き開催していきたいと考えている。</li> <li>・今後は、多職種カンファレンスから分析された地域課題の解決に向け具体的な実践を担うワークチームも必要と想定される。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケアマネジメント支援会議」は、重層的支援体制整備事業における多機関協働事業である「こまきつながる会議」をテーマに開催。令和7年度から本格稼働する前に、医療・介護の専門職で事例をもとに、意見交換をすることが出来た。ケアマネジャー、医療機関、保健センター、子育て世代包括支援センター、在宅医療・介護連携サポートセンター、介護保険事業所、社協、地域支え合い推進員、包括の参加で事例を通じて、それぞれの分野で多くの課題を抱えるケースに対して、できることを考える機会となった。</li> <li>・多職種カンファレンス（自立支援）が、年3回開催され、包括は事例提供として参加。事例をもとに地域課題に対して、医療・介護のそれぞれの専門職が意見することができた。</li> <li>・個別ケースの対応では、訪問診療や訪問看護、薬局と連携し支援体制を構築している。</li> <li>・入退院支援においては、「医療と介護の連携シート」を有効に活用し、適時適切な情報共有ができるように取り組んでいる。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント支援会議は、医療や介護だけでなく、多職種での意見交換、ネットワーク構築の機会となっており、テーマを検討し年1回の開催を予定している。</li> </ul> <p>複雑化する課題に対して各専門機関が、適切な情報共有と連携した支援ができる体制を構築していくことが課題。</p>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

### (1) 医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
大野委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度9月21日(木)に「教えて！ここが知りたい訪問看護」～医療保険と介護保険、制度の違いを知ろう～というテーマでケアマネジャーと訪問看護との合同の研修を実施した。参加者は67人(ケアマネ58、訪看9)</li> <li>・研修の中では、訪問看護の制度上の講義と相互の連携のあり方に対しての意見交換を行った。</li> <li>・主な意見としては、ケアマネ、訪問看護双方の役割の理解や情報不足によって医療と介護が合致あったチーム形成ができていないことや、訪問看護の導入のタイミングや医療の相談の仕方がわからないなどといった連携の取りにくさの課題や、ICTを相互でうまく使えていない状況、ACPの取り組みが進んでいないなどの課題点が明らかになった。</li> <li>・今後、より密接な連携体制を構築すべく、次年度以降も合同研修会などを開き、明らかになった課題について改善策を検討することになっている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は訪問看護がサービス提供時間にかかるため参加しづらく、研修の開催時間に配慮する必要がある。顔の見える関係づくりのためにも、より参加の多い研修が望ましいと考えている。</li> <li>・コロナ禍で連携が取りにくい時期があったことと、市内近隣で新しい訪問看護ステーションが急に増えたことで相互のつながりが薄くなったことはあるが、ケアマネジャーと訪問看護の連携は医療と介護の実務的な連携の核となるため、今後も相互に交流を深められる場をつくり、より効率的・効果的な連携体制の構築を目指していきたい。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、訪問看護とケアマネジャーが「訪問看護(医療)とケアマネジャーの連携を考える」研修会を開催。事例を用いて双方の関わり方の課題点を明確にし、具体的な解決策について検討する機会をつくった。</li> <li>・研修会では、訪問看護師とケアマネジャーがお互いの業務について知る中で、双方が違う視点で患者を診ていること、それだからこそお互いの情報交換が重要だということが理解できた。</li> <li>・特に、患者の変化に応じて、訪問看護とケアマネジャーでは介入のタイミングやあり方が違うため、お互いの動きについても理解しておく必要があるとの意見があった。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの情報共有、情報交換ができる情報ツールの活用。</li> <li>・どの訪問看護、ケアマネジャーでも双方の動きを理解できるようなケアパスがあるとよい。</li> <li>・今回のように、他職種と一緒に一人の患者の支援計画をつくる研修は、お互いの役割や取り組みがよくわかり、チームケアの実感が体感できた。今後も同様な研修を企画していきたい。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

### (1) 病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
田中委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度から国立長寿医療研究センターの主導で海部・尾張北部医療圏域で3ヵ年にわたり愛知県入退院調整支援事業に取り組んできた。この間、病院と在宅の連携ルールづくりに取り組み、以下の4点をまとめた。</li> </ul> <p>《尾北医療圏ルール》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアマネジャーの名刺を健康保険証と一緒に保管する。</li> <li>2. 病院はケアマネジャーへ入院連絡が行われたか確認、もしくは連絡を行う。</li> <li>3. ケアマネジャーは入院後3日以内に病院へ入院時情報提供を行う。</li> <li>4. 病院はケアマネジャーへ入院時情報の受領を連絡する。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>このルールについては、8～10月までプレ運用を行っており、2/13に発表会にて公表する予定。</li> <li>また、この連携には従来から使用する「入退院連携シート」や看護サマリなどを活用する。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県入退院調整支援事業では、各市町の情報共有や連携に関する課題点を話し合うことができた。</li> <li>この後は、小牧市のスタイルを構築する段階に来ているため、プレ運用の検証をしっかり行い、市内・近隣の関係者と今まで話し合ってきたことを整理し、仕組みを作り上げることが必要だと考える。</li> <li>また、この仕組みやルールを関係機関へ周知し、運用できるようにしていくことが大切である。</li> <li>併せて、「医療と介護の連携シート」の見直しも行っていきたい。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーから入退院時における病院への情報提供は加算があることから多くのケアマネジャーが行っており、定着しつつある様子。</li> <li>転院の場合は、転院先までは情報シートは転送されないため、情報が伝わらない場合が多い。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院への情報提供は、医療と介護の連携シートなどで行っているが、現状に合わせて必要な情報が網羅されているか見直しが必要。 ※例：ADL 情報→入院時はレベルダウンしており、いつの時点の情報が必要なのかすり合わせが必要。</li> </ul> <p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2/4に小牧市民病院の入退院支援リンクナース会議に出席し、ケアマネジャーが退院時にどのような情報を求めているかということ病棟看護師に伝えることができた。併せて、病棟がかなり忙しく、人も入れ替わるため、ケアマネへの連絡がしづらい状況であることが分かった。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅時の情報は入院時に、また、病棟からの情報は退院後の在宅生活に大変重要であり、病棟とケアマネジャーが連絡を取り合える仕組みをつくる必要がある。(誰が、どのタイミングで、何を伝えるのか)</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

### (1) 病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
小松委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度(2022年4月～2023年3月) <ul style="list-style-type: none"> <li>「医療と介護の連携シート」で連携した件数 601件</li> <li>その他の様式(小牧市内) 52件</li> <li>小牧市外 351件</li> </ul> </li> <li>・2023年(1月～12月) <ul style="list-style-type: none"> <li>「医療と介護の連携シート」で連携した件数 710件</li> <li>その他の様式(小牧市内) 66件</li> <li>小牧市外 400件</li> </ul> </li> <li>・家族の面会が禁止されていた令和5年7月は、オンラインによる調整会議も行っていた。(2022年12月～2023年3月に13件実施)5月に感染症法の分類が5類に変更されてからは、来院する介護関係者が多くなった。退院前カンファレンスのケアマネジャー参加は289件で、月の平均は24件だった。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主にFAXで情報交換をしている。入院時、ケアマネジャーの名前や利用している施設が把握できるとその後の調整も早い。地域との連携に関するルールを院内にも定着させていく。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <p>2024年(1月～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療と介護の連携シート」で連携した件数 809件</li> <li>その他の様式(小牧市内) 78件</li> <li>小牧市外 426件</li> <li>・介護支援等連携指導件数 354件 (2023年 310件)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県入退院調整支援事業の運用は、実践している。担当のケアマネジャーの動きが早く、病院への「医療と介護の連携シート」の送信は病院スタッフが連絡するよりも早く届いている。これは、入院する又はした場合に家族がケアマネジャーに連絡していることが予想される。</li> <li>・退院調整カンファレンスは、感染による制限はない。</li> <li>・感染症については、COVID・インフルエンザとも一定数は入院しており、面会制限は緩和しているが継続している。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛知県入退院調整支援事業」については、病院として、問題はない。今年度中に評価は必要だと思う。</li> <li>・入院支援として、入院前に患者家族から情報収集を行う機会(PFM:Patient Flow Management)があるため、その時点で「医療と介護の連携シート」があると事前に詳しい情報が得られ、入院後の看護に活かす機会が増えると考えられる。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

### (2) ICTの運用（機能強化）

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
田中委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーと訪問看護の合同研修会で ICT の活用の仕方について意見が出された。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時やタイミングなど、ICT の使用状況が事業所によって違っている。</li> <li>・変化や対応など、重要なことを見落とさないよう記録の方法やルールが必要。</li> <li>・連絡方法の一本化が必要（事業所や市町村によって ICT が違う。医療職はメディカルケアステーションの使用が多い。）</li> </ul> </div> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係機関の現状を確認し、つながるくんの活用を奨励するとともに効果的な ICT の活用について検討することが必要。</li> <li>・医療・介護連携研修会などで、連携の成功例を共有するなど、関係機関に分かりやすい提示の仕方が望ましい。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様、ケアマネジャーと訪問看護の合同研修会で ICT の活用の仕方について意見が出されている。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまきつながるくんは開くまでに手間がかかり、活用しにくい。</li> <li>・医師や医療関係者はメディカルケアステーションを使用している方が多い。</li> <li>・連携の重要性・必要性は双方が理解している。</li> </ul> </div> <p><b>【実現に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度以降、この課題について検討されていない。</li> <li>・使う側の選択に任されることではあるが、小牧市としてこのシステムを推奨していくのであれば効果的な ICT 活用について検討することが必要。特に、現場が使いやすくなるためにもシステム改善の声を集約や、多様な活用方法を検討してはどうか。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

### (1) 在宅医療・介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員 《前回報告》 岡田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様、サポートセンター会議・管理者会・包括の部会等が毎月開催されることで、双方向での活動状況の情報共有ができています。</li> <li>・今年度、「医療とケアマネ連携一覧」の更新が実施され、「こまきつながるくん連絡帳」に情報が掲載され、各事業所が活用できている。</li> <li>ICTの環境にない事業所については、各包括で入手できるように配慮されている。</li> <li>・在宅医療に関する相談件数はあまり多くないが、センターからのレスポンスが早く、タイムリーな情報が入手でき、助かっている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携サポートセンターとは、十分な連携が図れており、現在、特に課題は見当たらない。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンター会議、管理者会、包括の部会にて、活動状況の情報共有ができています。</li> <li>・「医療とケアマネ連携一覧」の更新が実施され、「こまきつながるくん連絡帳」に情報が掲載され、各事業所が活用できている。</li> <li>・サポートセンターへつなぐ相談件数はあまり多くないが、問い合わせや依頼に素早く返答していただけており、助かっている。</li> <li>・サポートセンターと味岡地域包括支援センターが共同で、月1回の田島の郷での出張相談会を開催できている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携サポートセンターとは、十分な連携が図れており、現在、特に課題は見当たらない。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

### (2) アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
田中委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い推進員のサロン訪問（R5.4～12月）130件。そのうち個別ケース対応3件（実稼働数：高齢者2件、障がい者1件）介護など、ご近所や家庭内の相談も多くなってきている。</li> <li>・支え合い推進員や地域包括支援センターが出向くことでサロンが地域の身近な相談の場として定着してきている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンでの福祉相談が気軽にできるようになったことで、サロン参加者が地域の目となり、地域の方々の生活の困りごとを専門機関へのつなげる役割をすることができるようになった。</li> <li>・今年度より地域生活課題である買物支援について、マックスバリュ(株)と連携した移動販売事業、社協のデイサービス車両で行う買物支援などの事業も行っており、地域のつながりづくりの中でご近所の生活課題をキャッチできる場を増やしていきたいと考えている。</li> <li>・一昨年より課題に挙げている引きこもりや生活困窮者など、支援を必要とする人たちに、必要な情報が届いていなかったり、相談に来れない人、支援に繋がらない人への働きかけについては、重層的支援体制整備事業の中で検討していただきたい。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターや地域支え合い推進員が、サロンや出前講座、出張相談など、アウトリーチを仕かける相談の場づくりに取り組んでいる。</li> <li>・特に、地域支え合い推進員のサロン訪問（R6.4～12月）が185件あり、前年度より増加傾向にある。そのうち他機関への連携ケースが13件となっている。地域包括支援センターや地域支え合い推進員の認知度に比例して相談窓口としても大切な機会となっている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターや地域支え合い推進員がサロンに顔を出すことで、気軽に声をかけられるようになってきている。また、このことは、昨年度から始まった移動販売などの地域の新たなつどいの場でもみられるようになってきている。</li> <li>・今年度から小牧市では、重層的支援体制整備事業のアウトリーチ事業に着手しており、今後、この事業と関係機関が連携し、情報や支援の行き届かない人たちを掘り起こし、支援できる体制づくりを構築していくことが課題になっている。</li> </ul>



# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

### (2) アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員  《前回報告》 岡田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の出張相談については、以下の相談会を実施した。 ローソン移動販売出張相談・野口の郷出張相談・たがたの郷出張相談・小針の郷出張相談・西部コミュニティセンター出張相談 ヴィレッジハウス山北出張相談・ドン・キホーテ UNY 桃花台出張相談 ナフコ二重堀店出張相談、大垣共立銀行出張相談、ハロー薬局出張相談・公民館出張相談・篠岡第2住宅予防相談、認知症カフェ出張相談、サロン・老人会出張相談</li> <li>昨年より開始した「イオン小牧店出張相談会」は、薬局とタイアップして介護の相談だけでなく、健康相談にも対応するなど新たな展開となった。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アウトリーチ型の相談は、各包括ともに定期的に開催されているがどの包括も人員が充足しているとは言い難い状況下である。 今後、総合相談業務の増加、予防プランの直担当数の急増が見込まれていることから、現行の相談体制を継続していくためには、専門職の増員が課題といえる。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターは訪問による相談対応を業務としているが、その中で、受診先の相談や認知症の検査についての相談があり、適時、医療機関へのつなぎをしている。</li> <li>地域包括支援センターが行う出張相談会は以下のとおり。 (南部) 小針の郷、スギ薬局、北外山県住移動販売、イオン小牧店、ナフコ二重堀店 (小牧) ラビオでわかな (味岡) 田島の郷、大垣共立銀行、岩崎県住移動販売 (篠岡) 野口の郷、ドン・キホーテ UNY 桃花台店、篠岡第2県住、その他集いの場(5か所) (北里) 小針の郷、藤島団地会館、北里市民センター、ハロー薬局</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出張相談会は、全く相談がない時もある。開催方法の工夫や現行の相談会を維持していくことを含めて検討していく。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### (1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
深萱委員  《前回報告》 板谷委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市介護保険サービス事業者連絡会では、今年度も各職種部会主催で7回の全体研修会を実施した。</li> <li>令和5年9月21日 居宅介護支援部会と訪問看護部会の共同開催で「教えて！ここが知りたい訪問看護～医療保険と介護保険の違いを知ろう～」を実施し、20事業所44名の参加があった。</li> <li>訪問看護部会主催の研修会としては、令和6年2月14日に「ACPに繋がる『もしバナ』ってなに？～最期の時を自分らしく過ごすきっかけを体験しよう～」の開催を予定している。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市介護保険サービス事業者連絡会の登録事業所数は、現在141事業所あり、今年度の全体研修会では出席率の低さを課題と捉えている。</li> <li>各職種部会担当制の研修会では、どうしてもその職種の専門性の強い内容となってしまう傾向がある為、次年度からは年間テーマを決め、2～3部会を1グループとした横割り方式で、協同して研修の立案から開催まで実施していく方法で検討を進めている。</li> <li>各事業所間での連携の重要性を再認識しながら、事業者連絡会の研修や行事を進めていく事を次年度の課題としていく。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度も小牧市介護支援専門員連絡協議会が主催された「訪問看護（医療）とCMの連携を考える～急性期から維持期へ利用者の在宅生活をどう支えるか～」に参加させて頂きました。</li> <li>小牧市介護保険サービス事業者連絡会としては、施設部会と訪問看護部会の合同で「ChatGPTでカイゴもカンタン♪AI活用術」を令和6年12月18日に開催、23名の参加者の方々と研修会を通じて交流しております。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会への参加率を高めるために合同研修会として、研修の回数を減らし参加を促しております。内容については参加者アンケートより大変満足できる内容だったと好印象な内容が多く見られました。仕事をする上で有益な研修会を開催し、その時間を共に過ごせた体験が多職種連携には必要と考えますので、今後も有意義な時間となる内容の研修を企画してまいります。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### (1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 (令和7年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
大野委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、介護支援専門員連絡協議会では、地域包括ケアシステムの深化に向けたテーマを設定して研修会を開催してきた。</li> <li>① ケアマネジャーと訪問看護の連携</li> <li>② 民生委員・児童委員との連携と災害時個別避難計画の理解</li> <li>③ ヤングケアラーの実態と支援</li> <li>④ 生活支援整備におけるケアマネジャーが必要とする課題についての検討</li> <li>・医療関係機関とともに、障がいや子育てなどの他制度やインフォーマルサポートとの連携を検討し、多職種のネットワークを地域全体に広げていくことをめざしている。</li> <li>・特に、民生児童委員との意見交換は、今年度初めて行い、双方の役割を理解し、どんな時に相談することができるのか、協力体制を作るきっかけとすることができた。</li> <li>・また、ヤングケアラーの研修は、高齢者ばかりでなく様々な視点から家族支援を行うことの大切さを理解し、他分野の職種・機関との連携の重要性に気づくことができた。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度行ってきた研修をきっかけとして、専門職のスキルアップとともに、様々な機関が連携・協働していくことで市内に幾重にも専門職のネットワークを張り巡らし、地域で困っている人たちを受け止め、支えていく仕組みづくりをめざしていきたいと考えている。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けて、他市町と比較する中で、小牧市ではまだ進められていない課題点に着目し取り組んでいく必要がある。</li> <li>・そのためにも、地域包括支援センターが行う地域ケア会議、他職種カンファレンス、ケアマネ支援会議等で洗いだしてきた地域生活課題を整理し、どのように課題解決を進めるのか、具体的な動きをつくる必要がある</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、介護支援専門員連絡協議会では、昨年度から継続し、地域包括ケアシステムの深化に向けたテーマを設定して研修会を開催してきた。特に、医療・介護の連携とともに、多問題世帯をターゲットとした暮らしを支える連携体制づくりができる力を養うことに焦点を絞っている。</li> <li>① 他制度の理解（社会保障制度、障がい福祉制度）</li> <li>② ケアマネジャーと訪問看護の連携</li> <li>③ 多問題世帯の支援を考える事例検討会</li> <li>④ 災害時の連携、支援体制づくり</li> <li>・上記研修を行うことで、重層的支援体制づくりや地域支援体制づくりをイメージすることができた。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多制度分野、地域機関との連携においては、自分たちの専門分野からの一側面からの理解にとどまっており、横断的なコーディネートが必要と思われる。</li> <li>・半面、人手不足や、人件費・物価の高騰などにより、事業所経営は苦しく、事業所として法廷内サービスに留まることが精いっぱい、他機関と連携する余裕がないという声も聞かれている。事業所の経営体制の課題も大きい。</li> <li>・地域ケア会議や多職種連携カンファレンスなどで抽出した地域課題について、その後どのように解決するか、どのように取り組んでいくなどと言ったことが見えないため、地域ケア会議に対する関心が高まっていない。この会議をいかに有効に活用するかが地域包括ケアシステムの構築のために重要になってくるため、今後の方向性をしっかりと検討することが必要と考える。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### (1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員 《前回報告》 岡田委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、予定された研修会は、計画通りに対面開催で実施できている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に実施に向けての課題は見当たらないが、アフターコロナとなった今後も感染予防対策を実施していく。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前途した「ケアマネジメント支援会議」にて、多職種連携についても意見交換ができています。</li> <li>・多職種カンファレンス（自立支援）が3回開催され、地域包括支援センターは事例提供として参加し、意見交換を行った。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定された研修は実施できており、実施に向けての課題は見当たらない。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### (2) 在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
田中委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前述している入退院連携、訪問看護との連携等、医療・介護の連携においては課題点は多く、各機関が研修会などを実施している。</li> <li>・今後は、令和6年度報酬改正にもみられる入退院連携、栄養・口腔・リハビリ（体力増進）の一体的取り組み、看取り対応、LIFEを活用した機能回復訓練などが機能できるよう課題点を焦点化して関係機関がスキルアップできるように研修の企画を検討したいと考えている。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関がそれぞれで研修を実施しているため、全体的に課題を整理し、効率的効果的に研修を実施できないか検討が必要。</li> <li>・専門機関それぞれが把握している課題点を共有することも大切だと考える。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市における在宅医療・介護の連携体制は、2月に開催した市民講座にわかるように、顔の見えるレベルでのネットワークの核ができており、他市町には見られない強い関係性が築かれている。</li> <li>・その上で、専門職としての連携のあり方や、それぞれの役割分担などを活用した実践的な勉強会が必要となってくるが、令和6年度は実施してこなかった。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については、ネットワーク基盤を築くことができたため、次年度は実践的な連携支援など、学びに関することに取り組んではどうか。</li> <li>・このネットワークをさらに広げ、今つながっていない機関を巻き込んでいく展開を検討することが重要。</li> </ul>
河内委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度は、リハビリ職を中心に勉強会を3回実施。R6年度からは、定期開催とし、他職種の方にも参加を募っていく予定。</li> <li>・多職種カンファレンスには、参加できている。このまま継続して参加していく。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の題材</li> <li>・勉強会参加者の確保</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年度は、リハビリ専門職を中心とした勉強会を3か月ごとの定期開催することができた。また、一部看護師も勉強会に参加していただきました。今後、さらなる職種にお声かけし多職種でいろいろな角度から話ができる勉強会にしていき、医療・介護の質の向上と連携の向上を図ってきたい。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種でスキルアップできる勉強会内容の検討。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (キ) 地域住民への普及啓発

### (1) サロン等における在宅医療・介護に関する取り組み

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
加藤委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で出向していなかったが、依頼があれば出向可能である。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼があれば講座の開催をしたい。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は出向しておりませんが次年度は依頼があれば出向予定です。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は依頼を受けて指示を受けた歯科医師が、それぞれの資料でサロンで対応していたが、時間的にも歯科医師会がチェックする事が出来ていなかった。次年度からは担当理事が資料を作成し、歯科医師会としてのチェックを入れた後に出向をされる会員先生にその資料を使用して対応して頂くことで、内容を担保すると共に担当される会員先生にも負担にならないようにしていきたい。また許す限り依頼のあったサロンの地域で開業されている先生に担当して頂きたいと考えている</li> </ul>
河内委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまき山体操は、随分と普及した。今後は、普及活動でなく評価の方に力を入れていく。</li> <li>・サロンに対する出前講座を再開する。</li> <li>・今後、引きこもりの方に対する運動指導等を小牧市の介護予防事業として行っていく予定。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまき山体操の効果判定をどのようにしていくのか？評価方法の見直し等考えていく必要がある。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンへの「こまき山体操」「出前講座」の指導・評価、フレイルの相談窓口は継続して行っていく。</li> <li>・引きこもりの方に対する運動指導も始まり来年度も継続して行っていく。</li> <li>・ボランティアに対するリーダー研修も行っている。(市からの依頼で)</li> <li>・今年度より、在宅へのリハビリ専門職派遣のモデル事業を小牧第一病院にて開始。件数としては5件とまだ少ない。今後も問題点を把握し継続して行えるようにしていく。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまき山体操の効果判定をどのように参加者にフィードバックしていくか？</li> <li>・リハビリ専門職派遣モデル事業の結果の考察が必要。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (キ) 地域住民への普及啓発

### (2) わた史ノートの普及・啓発

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
金田委員 《前回報告》 岡田委員	<b>【進捗状況と今後の予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生き生き人生プロジェクト」と連携し、「わた史ノート」の改訂は、現在進行形で着々と進めており、来年度中に改訂版が完成する予定。</li> <li>・具体的には、第6回生き生き人生プロジェクトチーム会議にて、「わた史ノート」の全体の見直しと修正を図り、3月頃に市に提出できる事を目指している。</li> </ul> <b>【実施に向けての課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題は、特に見当たらない。</li> </ul>	<b>【進捗状況と今後の予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧生き生き人生プロジェクトチーム会議にて、わた史ノートの内容を見直し、改訂版が完成。</li> <li>・地域包括支援センターが普及啓発のため、講座を開催している。今年度は、サロンや老人クラブ、民生委員を対象に、7か所で講座を開催できた。</li> </ul> <b>【実施に向けての課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改訂されたわた史ノートを、普及啓発していくこと。</li> </ul>

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

## (※) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

### (1) 広域連携の推進

報告者	前回報告 (令和6年1月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和7年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
増井委員	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在宅医療サポートセンターが実施している在宅医療介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。</li> <li>・尾張北部医療圏在宅医療介護連携推進支援事業意見交換会について、尾張北部医療圏が愛知県入退院支援事業のモデル医療圏となっているため、市町の実務者の情報交換・意見交換を実施した。(新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和2～4年度は中止)</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の状況を把握しながら、尾張北部圏域の関係市町との連携に必要な情報共有と意見交換を図っていく必要がある。</li> </ul>	<p><b>【進捗状況と今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在宅医療サポートセンターが実施している在宅医療介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。</li> <li>・尾張北部医療圏在宅医療介護連携推進支援事業意見交換会について、尾張北部医療圏域内市町で医師会及び市町担当者の情報交換・意見交換を2回実施した。</li> <li>・圏域内市町の在宅医療・介護連携の取組が向上し、事業の目的が達成されたため、来年度以降、保健所の在宅医療・介護連携推進支援事業は廃止となる。しかし、尾張北部医療圏域内市町の実情に応じて、当面は情報交換・意見交換の場を設けることも検討していく。</li> </ul> <p><b>【実施に向けての課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の状況を把握し、尾張北部医療圏域内関係者の実情に応じて、情報交換の場の設定を検討する。 (予算の都合上、実務担当者レベルでの場の設定は可能である)</li> </ul>